

ジェネリック医薬品ってどうなの？

ファイナンシャル・プランナー 菊池 昭仁

最近耳にすることの多くなった「ジェネリック医薬品（以下ジェネリック品）」、薬局で勧められたり、会社の健康保険組合などから「ジェネリック医薬品希望カード」といったものを配られた方も多いのではないのでしょうか。

ところでみなさんはジェネリック品のこと、どのくらい理解されていますか？

これはある薬局でのジェネリック品についてのやりとりです。

薬剤師「〇〇さん（患者）は今□□という先発品を飲まれています、同じ薬効成分のジェネリック品を選ぶこともできます。ジェネリック品の方がお薬代は安いですが、どちらがよろしいですか。」

患者「安い方は効き目も落ちるんじゃないの？」

薬剤師「いいえ、同じ薬効成分ですので効き目も同じです。」

患者「じゃ、なんで安いなの？」

薬剤師「先発品の特許が切れた後に発売されるので、先発品ではかかる開発費がかかっていないのです。安いのはそのためです。」

患者「先発品とまったく同じものなの？」

薬剤師「薬効成分や効き目は同じです。例えば薬の溶け方を調節するなどの目的で入っている添加物は違うことがあります。」

患者「結局どっちが良いの？」

薬剤師「どちらが良いということはありませんので、〇〇さんが良いと思われる方をお選び下さい。」

患者「よくわからないから、今までと同じ薬でいいや。」

薬剤師「わかりました。」

みなさんの中にもこんなやりとりをした方がいるかもしれません。その時もしジェネリック品を選ばなかったとしたら、なぜでしょう。おそらく日用品などには持っている自分なりの判断基準を、薬には持っていないからではないのでしょうか。

そこで今回は、先発品とジェネリック品の違いを具体例で説明したいと思います。みなさんが薬局で先発品かジェネリック品かを選ぶ判断基準になれば幸いです。

1. お薬代（薬剤料）

なんといっても最初に気になるのが、どのくらいお薬代に差があるのかということかと思えます。例えば高血圧で高コレステロールの方で合計2種類の薬を、どちらも1日1回朝食後に飲んでいる場合、次のようになります。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2010 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

	高血圧の薬	高コレステロールの薬	30日分合計（3割負担）
先発品	A錠 64.00 円/錠	X錠 128.90 円/錠	1,710 円
ジェネリック品	B錠 34.50 円/錠	Y錠 53.30 円/錠	900 円

※注意

- ・お薬代の計算方法は特殊ですので単純に掛け算した場合と一致しません。
- ・ここで計算したのは「薬剤料」といわれるもので、薬局で実際に支払う金額には、今回話を分かりやすくするため省略した、「基本料」「調剤料」などといったものが加わります。
- ・この薬の組み合わせは一例であって、これが標準的というわけではありません。

2. 薬剤そのものの違い

薬効成分やその量は同じです（これが違ったらジェネリック品ではありません）。品質についても、国で定められた基準があるので同じ程度と考えて良いでしょう。その他に薬剤を構成している添加物に違いがあることがあります。次の表はその一例です。

	高血圧の薬	高コレステロールの薬
先発品	結晶セルロース, 無水リン酸水素カルシウム, デンプングリコール酸ナトリウム, ステアリン酸マグネシウム, ヒプロメロース, 酸化チタン, タルク, カルナウバロウ	乳糖水和物, 結晶セルロース, 部分アルファー化デンプン, 加水分解ゼラチン, クロスポビドン, クエン酸水和物, ブチルヒドロキシアニソール, ステアリン酸マグネシウム
ジェネリック品	セルロース, 無水リン酸水素カルシウム, カルボキシメチルスターチナトリウム, ステアリン酸マグネシウム, ヒプロメロース, 酸化チタン, マクロゴール, カルナウバロウ	ブチルヒドロキシアニソール, ポリビニルアルコール（部分けん化物）, D-マンニトール

添加物は特にどれが悪いということはありません。ただ人によってはお腹の調子が悪くなったり、アレルギーが出たりする場合があります。こういった症状が出る確率に先発品、ジェネリック品に違いはありません。その薬剤を使ってみなければ分からないことが多いので、薬剤を変更した場合しばらくは様子を見て下さい。

最後に

先発品かジェネリック品かを選ぶ際には、金額とご自身の体質を考慮しましょう。品質や効き目に違いはありません。